お世話になります。
僭越ながらご承知おきとは思いますが、末永くご使用いただけますよう、芯交換に伴う諸関連事項に関しましては、取扱説明書内の「 ■特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みいただき、くれぐれもご留意の上自己責任にてお願い申し上げます。
下記に付随のご注意事項を記しますので、長文ですがご拝読下さい。

過去に芯交換をされたご経験がおありの場合にも再度確認も兼ねてお読み下さい。
また、過去にご経験がなくとも、カラ焼きクリーニングを実施し、
残油処理をきちんと実施されている場合も同様確認を兼ねてお読みください。

芯交換後は、必ず新しい灯油を入れ、充分に浸潤するまで 20-30 分以上お待ちください。
その後、点火操作を実施しご使用ください。

【まったく初めての場合】は
まずは、同梱されております取扱説明書をお読み下さい。
灯油は必ず新しい今季購入のものをご使用下さい。
間違っても昨冬今冬よりの持ち越し灯油の使用は厳禁です。

なぜ、持ち越し灯油を使用してはいけないのか？
今年の 4 月に購入した灯油の残りでも駄目なの？
使用してはダメです。
芯を傷めるだけで 1 度は点いても以降は点火しません。
保管状態が良いとしても長時間の空気に触れて、なおかつ日本の夏の高温多湿の条件下では酸化してしまい、水分を含んだ、または水に近い（水割り灯油）灯油に変質化・不純化してしまいます。
ですからこれらを使用しますと一度は点火しましてもタールスラッジ等の付着が多くなり、点火しにくい、なかなか点火しない、挙句の果てにはギアつまみが廻らない状態になります。
また水分を含んでいるものに至っては二度と点火しなくなりますし、
芯と芯外筒の摩擦が増してギアつまみ自体が重く廻らなくなりますのでご注意下さい。

新しい灯油を購入されましてもその保管方法場所にもご注意下さい。
灯油は保管状況が劣悪な場合には酸化が進み 2-3 日で変質灯油になってしまいます。
たとえばマンション・戸建てでも日当たりの良いベランダ・軒先等に保管した場合ですと紫外線による酸化の進行により不良灯油または変質灯油になってしまいます。
灯油はなまものなのです。
料理等で使用される食用油等も同様で開封後お早めにご使用ください等の文言も同様の主因によるものです。

よって保管状態も、火気・雨水・ごみ・高温多湿・直射日光をさけて、
必ず色付きの灯油専用容器にて保管して下さい。
絶対にドラム缶・一斗缶での長期大量保管はさらに劣悪な条件下になりますので避けて下さい。

トヨトミのファンヒーターでは持越灯油使用可能と明記されているものもありますが、気化することにより使用可能な場合もありますが
あくまでもケースバイケースですので品質によっては臭気等の問題も発生します。
いづれにしましても、持ち越し灯油の使用はお控えいただく方が宜しかろうと思います（トヨトミ製品のみでダイニチ・コロナのファンヒーターは持ち越し灯油使用厳禁です)。

取説等に従い、無事に新交換が完了しましたら、その後、新しい灯油を入れ充分に浸潤するまで 20-30 分以上お待ちください。
灯油を入れて、すぐに点火操作をするのは絶対に行わないで下さい。
芯上部の特殊部分が傷んでしまい再点火しにくくなりますのでご注意下さい。

シーズン終了時にはタンク内の残油を完全に取り除き
場合によっては「カラ焼きクリーニング」を実施後、保管して下さい。
「カラ焼きクリーニング」は芯に付着したアール等の酸化化合物を除去する唯一の方法で詳細等は取説を御覧ください。
来シーズンに再使用されるときは本文初めからの繰り返しとなります。

芯操作で、上がらない、下がらない、点かない、消えにくい等々の
症状が発生した場合は、前述のカラ焼きクリーニングを実施しますと
往々にして改善されることがあります。

このハイテクな芯は、非適切な燃料、使用方法をすると使用できなくなる、各種中毒・事故等々を未然に防ぐ、というユーザーサイドに立った最終安全装置であり、また結構ローテク製品ではありますが 60 有余年の技術の結晶とお考えいただければ宜しかろうと思います。
ですので石油ストーブの場合の点火しない、消えてしまう等々の諸症状は、最終的な安全装置である芯の防御機能でありますので製品云々の問題ではありませんのでこの点ご理解賜りますようお願い申し上げます。

このような場合は、「カラ焼きクリーニング」を実施することにより改善されることが多いのですが
改善されない場合は、芯交換をすることにより、再利用可能になりますので
適合芯をお買い求めいただくか、修理サービスに依頼されるか、ご検討下さい。

長文になりましたが末永くご使用いただけますよう。
以上よろしくお願いいたします。